

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 29 年 6 月 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 刈谷市一ツ木町竹下 50-1	
氏 名 愛知技研株式会社	
取締役社長 森一生	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-23-2731	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	愛知技研株式会社
事業場の所在 地	愛知県刈谷市一ツ木町竹下 50-1
計画期 間	平成 2 9 年 4 月 1 日 ～ 平成 3 0 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	2 4 金属製品製造業
②事業の規 模	製造出荷額 1 8 7 億円
③従業員 数	2 0 0 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括責任者 技術部 部長 (公害防止統括者) 環境 ISO 事務局 環境会議 製造部 品質保証部 技術部 営業部 総務・経理部 製造一課 製造二課 工務課 品質保証課 技術課 保全課 環境課 営業課 総務・経理課 安全衛生課 ・総務・経理部、営業部 … 事務部門として廃棄物 担当者 ・技術部…環境課に (特別管理) 産業廃棄物 管理責任者 各課に廃棄物担当者 ・製造、品証部… 各課に廃棄物担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
--	-----	-------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t		t
	再生利用業者へ の 処理委託量	t		t

		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	排出量	8399t	2432t	14t	1t
	(これまでに実施した取組)				
	年度毎に廃棄物発生低減を、目標値をもって業務として活動。 ・汚泥…めっき工程での水消費量をメーター管理等で適正化し廃水処理施設への汚水量の低減で汚泥生成量低減、また汚泥の脱水性向上管理強化。 ・廃酸…生産工程の不良品発生、再処理ロス予防で塩酸消費の抑制。 廃希塩酸約440 ^ト 、廃クロム酸約200 ^ト は排水処理にて連続処理し残渣を委託処分。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	排出量	7,500t	1,800t	15t	3t
	(今後実施する予定の取組)				
	・汚泥…廃水処理用薬剤の最適見直し活動を強化し発生汚泥を削減。 汚泥含水率を下げる薬剤を導入検討し、埋立処理委託量の削減を図る。 ・廃酸…生産工程での加工不良低減活動を、全社員参加による活動(ARD活動と称する)を会社重点業務とし、再処理の排除で生産効率を向上し、廃棄物発生低減に寄与させる。 廃希塩酸、廃クロム酸の排水処理にての連続処理を継続する。				

産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃酸のうち、再資源化分(硫酸ニッケル)は別保管している
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
① 現状	【前年度（ 27年度 ）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)				
	—				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)				
	—				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
① 現状	【前年度（ 27 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	7376t	0	0	0
	(これまでに実施した取組) フィルタープレスろ布の定期的交換による脱水比率の向上				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6800t	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) 汚泥含水率を下げる薬剤を導入検討し、中間処理により減量の増加を図る				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
① 現状	【前年度（ 27 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) —				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組) —				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
① 現状	【前年度(27 年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	1023t	2432t	14t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	1023t	1997t	14t	1t
	再生利用業者への処理委託量	641t	1704t	8t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	27t	65t	6t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組)				
	・汚泥…セメント材料で再生利用する優良認定処理業者へ委託。 ・廃酸…中和し、セメント焼成用助材として再生利用する業者へ委託。 ・廃プラスチック…RDF燃料化する業者に委託。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	920t	2200t	12t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	920t	1800t	12t	1t
	再生利用業者への処理委託量	500t	1500t	8t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	25t	60t	4t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組)				
	・汚泥…セメント材料で再生利用する優良認定処理業者へ委託継続。 ・廃酸…中和し、セメント焼成用助材として再生利用する、優良認定業者へ優先的に委託。 ・廃プラスチック…RDF燃料化する業者へ優先的に委託。				